



平成 25 年度会報第 1 号

平成 25 年 6 月 28 日

(社) 日本山岳会石川支部

支部長 中川 博人

## 支部長会議・平成 25 年度定期総会の報告

平成 25 年度第 1 回の支部長会議が 6 月 15 日 (土) 午前 10 時 30 分より本部 104 会議室で開催された。冒頭、尾上会長より 2 期 4 年間の任期を終えるに当たり、以下の通り挨拶。

一會長に就任以来、JAC が日本登山界のリーダー役としての復権と JAC の復興を目標に全力で活動してきた。公益法人化となり社会的責任も重くなった。JAC の活力は豊富な人材と各支部の精力的な公益・共益活動に支えられている。ベースは支部の活動である。4 つの提案をしたい。

- 支部山行を増加してほしい (山岳会の活性は山行に尽きる)
- ルームを持ってほしい (何時でも自由な出入りができる)
- 主催の事業を積極的に (対外事業のアピール)
- 支部内に同好会を作る (共通の友を作る)

支部の活性化は会員の増加につながると信じる— 4 年間に亘る会長の重責に出席支部長からは盛大な感謝の拍手が送られた。以下、議題に沿って高原常務理事が進行。

### 1. 新支部長紹介 (10 支部の支部長が交代。紹介された)

北海道・宮城・山形・福島・千葉・越後・岐阜・静岡・山陰・広島

### 2. 会費滞納除籍予定者について

現状、石川支部には 3 年間未納者は該当なし。(但し 1 年間滞納者はあり)

参考：① 前年度の会費未納者には、機関誌「山岳」及び会報「山」を送付しない。

② 滞納 2 年目から 3 年目は、年次晩餐会、総会の通知、会費納入督促を除くすべての通知を止める。

③ 3 年間未納の者は、除籍する。

### 3. 会務報告と依頼

◆ 平成 25 年度支部への運営交付金、事業補助金について

支給金額・・支部会員数に一人当支給金額を乗じた金額。

一人当支給金額・・運営交付金 (共益事業) 1000 円

事業補助金 (公益事業申請) 1500 円 合計 2500 円 (7 月以降

送金)

会計処理に当たっては支部長、事務局、会計が連絡を密にとって頂きたい。

◆ 「日本 300 名山」について

各支部において始動した。一般者に対し最もベストなコースを紹介してほしい。

石川支部はコード 230~235 の 6 山を担当。233 の笈ヶ岳は調査済。

◆ 「山の日制定」プロジェクト

#### 1. 動向と状況

・ 4 月 10 日超党派議員連盟が発足。(衛藤征士郎会長、谷垣禎一最高顧問)

- ・「山の日」を国民の祝日に制定し、祝日とすることを目的とする。
- ・総会席上、「来年の通常総会に議案提出できるよう進めたい」と会長が明言。
- ・以後、6/7 現在までに計6回の総会を開催。(各省庁からのヒアリング)
- ・6/14 現在の議員連盟の加入は100名となり、議員立法の早期実現に向けて努力する。

## 2. 全国「山の日」制定協議会の今後の動き

- ・山岳5団体による協議会を発展的解散、全国「山の日」制定協議会を設立する。
- ・山岳5団体は幹事団体として積極的に参画。日本山岳ガイド協会に事務局を置く。
- ・広く各界に呼びかけるため世話人会を構築し、連合事務局を構築する。
- ・世話人会は国会議員、知事、市町村、登山界、学術、有識者、経済界などで構成する。
- ・山と自然に関するすべての分野に活動を広げて運動参画を呼びかけ、国民ネットワークを構築し、ネットワークを通じて新しい事業展開を企画、実施する。
- ・10月頃全国会議を開催、「山の日」とそれに伴う活動を国民に強くアピール。

参考：石川県の超党派議員連盟参画議員一 馳 浩、一川 保夫

### ◆ 支部活性化プロジェクト・YOUTH CLUB

第1回全国安全登山実技講習会を独立行政法人日本スポーツ振興センター 国立登山研修所(予定)で開催する。各支部から1~2名参加してほしい。

- ・事業の名称 全国安全登山実技講習会
- ・事業主催者 公益社団法人 日本山岳会
- ・後援 独立行政法人日本スポーツ振興センター 国立登山研修所(予定)
- ・開催予定 平成25年 (A班日程) 9月19日(木) > 21日(土)  
(B班日程) 9月21日(土) > 23日(月)  
(C日程) H26年3月20日(木) > 23日(月)
- ・開催場所 (A・B日程) 国立登山研修所 劔沢夏山前進基地(予定)  
(C日程) 国立登山研修所本館(予定)
- ・参加対象 本会会員にして59歳以下の各支部長推薦の者。尚、支部長推薦の大学生の参加も認める。
- ・定員 各20名程度

### ◆ 「親子で楽しむ山登り」制作のための依頼

今年度より独立行政法人国立青少年教育振興機構「子どもゆめ基金」の助成を受け、ウェブサイト「親子で楽しむ山登り」を立ち上げる。そのため、「家族登山普及ワーキンググループ」を発足し新たな事業として活動を開始する。以下の2項目についてご協力をお願いしたい。

#### ① 「親子登山おすすめコース」(仮称)

支部の山で子どもを連れて登るのに適した山およびコースを紹介。

小中学生を対象に、紹介記事、地図、写真などで構成する。

今年度は各支部1山程度、8月中ぐらいの原稿アップを考えている。

詳細は別途通知する。

#### ② 「ぼくたちの親子登山教室」(仮称)

現在支部で行われている「親子登山教室又はこれに準ずる教室」があれば紹介。

現場レポートと、写真、動画などで構成。今年度は5教室程度掲載。

◆ 群馬支部設立準備経過報告

7月に設立総会開催を目標に、現在準備を進めている。

◆ 静岡支部長より、全国支部懇談会の参加申し込み期日を当分延長するので参加してほしい旨依頼があった。

以上が支部長会議の議案であった。

各項目については近いうちに役員会に諮りたいと考えております。

午後2時からは会場を主婦会館プラザエフに移し、平成25年度通常総会が開催された。

総会出席者180名、委任状3444名、計3624名、全体の67%の出席で総会成立。

公益法人法に基づく定款に沿って、第1号議案（平成24年度事業報告（案））、第2号議案（平成24年度収支決算報告（案））を審議、監事の監査報告の後、両案ともに承認された。第3号議案（平成25・26年度役員（理事・監事）（案））は理事再任5名、新任10名、監事再任1名、新任1名で提案され、承認された。新法では平成25年度事業計画及び収支予算は報告事項で、総会資料に基づき説明がされた。詳細は各位送付された総会資料を確認してください。以上。

（文責：支部長 中川博人）

## 山行・行事報告

### 1. （公）ふるさと登山道踏査（桃の木谷踏査）

◆ 湯涌河内谷、三又よりフタカオ谷―桃の木谷 平成25年4月6日（土）

◆ 参加者：西嶋鍊太郎（CL）織田伸治 東野智也 中川博人（会員4名）

AM7:00に集合後、河内谷林道へ入り途中の広場に車両を止め歩き出した。思いのほか谷筋は残雪があり三又までの林道に小一時間を要した。心野谷を中央に左にフタカオ谷、右に西谷が合流する。フタカオ谷へ入るとすぐに第一堰堤がある。道はさらに上流の新しい第二堰堤までつけられている。第二堰堤を超えたところで小休止。腹ごしらえをしていよいよ桃の木谷へ入る。残雪が切れて水流があり、右岸側の斜面を斜上していく。

始め緩やかな谷も半分を過ぎたあたりからは、斜度を増し谷も狭くなってくる。稜線に上がると順尾山山頂のすぐ手前。ここまで約2時間であった。一面の雪で登山道は出ていない。下山は桃の木谷の左岸尾根を下ることにし、目印のテープを縛りながら尾根を辿った。緩やかな尾根の上部はブナ林でその下はやぶ椿が常

緑の葉を見せていた。真っ直ぐな素直な尾根、新緑や紅葉の頃は美しいと思う。順尾山の尾根向こうには刀利の山並みも見える。左には奥高尾も見え、ここに登山路を開くことが出来れば三又に車を止め、奥高尾から順尾山の「みくまりの道」の周回路もできる。手ごたえを感じて下山できた。（文・写真 中川博人）



## 2. 春山雪上訓練を実施

- ◆ 医王山（白兀山北方稜線）医王山中腹 平成25年4月13日（土）
- ◆ 参加者：岡本明男(CL)、中川博人(SL)、木原清、八十嶋仁、櫻井茂紀、松井大樹、井上（金大ワンゲル）（会員4名 会友2名 その他1名 計7名）

午前8時30分、医王の里キャンプ場駐車場に車をデポ。林道を少し上がった処から登山道に入る。前日に降った新雪を踏んで歩く。西尾平で小休止。白兀山には10時30分に到着した。思いのほか新雪が積り、午前中は白兀山北方稜線で滑落停止訓練、懸垂下降訓練を実施した。木原会員が持参した簡易そり（プラスチックの平板そり）が意外にも加速度をまし役に立ったが、欲を言えばもう少し斜度がほしいところだ。

滑落停止を何度も繰り返し、「初期停止」の重要性を再確認。

昼食後は一旦谷底へ下降し、最も急な斜面をアンザイレンし、スタカットとセルフビレ

イの訓練をした。来年はやはり雪洞訓練の時期に同時に訓練したほうが、時期的に良いと思う。（文・写真 中川博人）



## 3. 平成25年度石川支部定期総会

- ◆ 白山里（白山市瀬波）平成25年4月20日（土）～21日
- ◆ 参加者：安田二三男 池本順平 井村喜久夫 太田義一 大庭保夫 岡本明男 織田伸治 木原清 澤村真治 関本邦晴 高田和彦 田中康典 津田文夫 中川博人 長清幸子 西嶋錬太郎 西田茂 埴崎滋 東野智也 藤江以住 前川陽 前田健進 村上哲（以上会員23名） 廣瀬正（会友1名）

今年の総会は、旧吉野谷村瀬波の「白山里」で、参加者39名（出席者23名、委任状16名）で開催された。冒頭、本年1月に他界された岩谷浩三さんを偲び全員で黙祷を捧げたあと、支部長を議長に選出する。最初に中川支部長から昨年度の支部行事に対する会員協力への謝意や、今後のJACや支部の動向等を交えた挨拶をいただく。

引き続き議案審議に入り、H24年度、事業報告および会計報告が行われたあと村上会員より監査報告があり、続いてH25年度、事業計画(案)・予算(案)および支部財産目録が提示され、いずれも、原案通り承認された。会員動向では、平成25年度当初で、会員44名、会友15名の計59名も報告される。

事業計画では、西嶋会員から「浅犀みくまりの道 周回登山道開設」が紹介され、その他では、中川支部長から「白山大汝避難小屋管理会の有志募集について」の賛同者募集が行われた。総会終了後は一旦温泉で疲れを癒し、その後は楽しい懇親会（参加者20名）の席に移動し、これまでや、これから計画の山行やイベント等の話題で、一同遅くまで大いに盛り上がる。

（文・写真 前川陽）



#### 4. (公) ふるさと登山道整備 (浅犀みくまりの道)

- ◆ 奥高尾山～順尾山 平成 25 年 5 月 18 日 (土)
- ◆ 参加者 大庭太洋子 櫻井茂紀 松井大樹 中川博人 長清幸子 西嶋鍊太郎 西川輝 埴崎滋 東野智也 藤江以住 前川陽 八十嶋仁 (CL) (会員 8 名 会友 3 名 計 11 名)

整備に先立ち 5 月 5 日に偵察した時、まだ雪が多く春先の山の態であった登山道は、たった 2 週間で匂い立つような新緑に包まれていた。奥高尾山と順尾山を結ぶ「みくまりの道」は高低差がありやや健脚者向けではあるが、ブナをはじめとした豊かな森におおわれ、この時期は特に美しい。天候に恵まれ、きらめく緑を楽しみながらの登山となった。

高尾山登山口を出発したのは 8 時半ごろ。奥高尾山を越え、11 時ごろに登山道の整備を始めた。道はクマザサが繁茂し、どこを踏んでいいのかわからないような状態であった。西嶋さん、前川さんが持参された草刈り機が力を発揮した。中川さんは西嶋さんからチェーンソーを借りて、倒木や道にかぶる枝を切り落とす。そこに他のメンバーが鎌や剪定ばさみで下草などをとっていった。快晴、気温も高く、汗をぬぐいながらの作業となった。西谷山で昼食を取った後、心野谷山までを整備。一部刈りきれない場所があったものの、道の見通しはずいぶん良くなり、これからここを通る人にはさわやかな気分で歩いていただけることと思う。

下山には西嶋さんが河内谷～順尾山間の新道として選定中の尾根を下った。踏査の時とは大違いで壮絶な藪こぎであり、トップを務められた中川さんをはじめ、先輩たちの誘導なくしては下れなかったと思うが、藪こぎ技術、ルートファインディング技術などを学ぶことが出来て、大いに収穫があった。下りきるころには日が傾いていたが、この標高の山にしては意外なぐらいの、醍醐味に満ちた山行と思う。

(文・写真 八十嶋仁)



#### 5. (公) 山岳講演会 ( 追憶の笈ヶ岳 —深田久弥氏との想いで— )

- ◆ 深田久弥山の文化館 平成 25 年 5 月 26 日 (日)
- ◆ 講師 中川支部長 参加者：32 名

去る 5 月 26 日(日)午後 1 時半より加賀市大聖寺の深田久弥山の文化館で、「追憶の笈ヶ岳」と題して、支部長中川博人氏の講演会が開かれました。支部メンバー 13 名を含め総勢 32 名の聴講者がありました。

「深田先生との笈の話の人前でするのは初めてです。私が 19 才のときで、45 年程前のことです。記憶も薄れかけていますが、深田先生が、笈の頂上で微笑んでおられたのを今でも

鮮明に覚えています。その様子をお伝えしたいと思っておはなしをします」と話を始められた。

笈ヶ岳の歴史や、位置関係、付近の山などの説明から始まり、中川さんが、石川支部第 3 代支部長の磯野三郎さんの会社に勤めていたから、深田久弥さんと一緒に山に登ることになったこと。石川支部にとっても、石川県の山岳界にとっても大変重要な人物であった磯野三郎氏について、人柄、その業績、深田久弥さんと

の家族ぐるみのお付き合いの事などを話された。深田久弥さんが石川支部の理事に名を連ねていたことなども話された。さながら石川支部の歴史を聞くようであった。いずれも、資料や文献で事実を再確認され、有意義なお話だったと大変好評でした。

本題の笈ヶ岳登山については、当時の写真がたった3枚しかないので、中川さんが最近登られた時の写真を使いながら、また、深田久弥の「山頂の憩い」を引用しながらお話しされた。同行したメンバーのこと、案内役の尾添の人た

ちの献身的な働きのこと、登山ルート（現在多くの人たちが残雪期にこのルートに登る）のこと、深田久弥さん、近藤さん、村尾さん三人の酒好きが飲んだ山頂でのビールのことなど興味深いものでした。

さらに、頂上つながりで、中川さんの仕事に関連して、三角点の話も聞かせて頂きました。支部メンバーは、講演終了後も山の文化館の庭のテーブルを囲んで、長時間にわたって話が弾んでいました。（文 大幡 裕）

## 6. (公) ふるさと登山道整備 (杉峠道)

◆ 杉峠登山口～杉峠 平成25年6月15日(土)

参加者：織田伸治 (CL) 大幡裕 大庭太洋子 小畑聡子 関本邦晴 内藤千代 長清幸子 埴崎滋 東野智也 前川陽 (会員8名 会友2名 計10名)

7時30分道の駅瀬女集合。久しぶりにお会いする皆さんとご挨拶をして、車4台で乗り合わせて、杉峠登山口へ向かいました。途中、三谷の新緑があまりにも綺麗で、思わず、歓声が上がり、車の中にもマイナスイオンを感じました。杉峠登山口の看板を囲んで、記念撮影をし、さあ出発しようという時に雨が降り出し、雨具を来て8時過ぎに出発です。

草刈り機3台で大まかに3箇所に分かれて、作業を進めていきました。特に生い茂った所もなく、時々伸びている枝を切りながら、第2展望台まで歩きました。今回の整備の前に織田さんが、木を切って下さっていて、第2展望台から峠までは内藤さんと2人で歩き、登山道に切り落とされた木があれば、よけながら歩きました。木が大きければ大きいほど、放り投げるときに気持ちよく、こんなことで、ストレス解消になりますね～としゃべりながら、歩きました。峠に一番近い沢を渡るとき、少し崩れていて、赤布があれば、付けてきたかったです。最後の沢に梯子がかけてあったのを覚えていたので、梯子さえ、見つければ、問題ありませんが、初めて来た人は一瞬迷いそうだと思います。

11時で作業終了予定でしたので、下山し始めました。12時に登山口に辿り着き、埋み火の里の石碑

のある屋根のついた場所をお借りして、昼食を取りました。体が雨で冷え切りあまり長居は出来ませんが、ひと時の歓談を楽しみ、ここで解散となりました。

私はここ数年前から整備に参加させていただいてますが、年々、楽になり、道が消えかけていた当初から、整備されてきた足跡を感じながら、歩きました。峠の看板も変わりなく、立っていました。今年の春に、大長山へ行ったときにすれ違った方が、「杉峠へ行く道も整備されて良い道になってるみたいですよ」と言っていました。口伝えで、程よく人が歩いてくれる道になっていたら、いいなあと思います。

(文・小畑聡子 写真・織田伸治)



## 7. ロープワーク・クライミングギア講習会

- ◆ 白山市舟岡山スポーツ施設 平成 25 年 6 月 23 日（日）9：00～14:00
- ◆ 参加者 田中康典（講師）岡本明男 木原清 中川博人 藤江以住 前川陽 八十嶋仁  
金大ワングエル部員 1 名 ハクサン風露山岳会員 2 名 （会員 7 名 その他 3 名 計 10 名）

「結果良ければ、全て良し」と言われるが、今回はまさにこのパターンだった。当初、倉ヶ岳か福井の黒岩の予定であったが、諸般の事情で、実際は晴天だったが、雨天時に予定していた舟岡山スポーツ施設で実施する。ここは鶴来高校の元体育館で、3階の一部広くなった廊下には、各窓の内側に床から 120 cm くらいの高さで、ロープがセットできる太い鉄棒が横に一本しっかりと設置されており、まさに、ロープワーク等の練習場としては最適であった。

冒頭、講師の田中さんから、本日の講習目的について説明を受ける。クライミング時に、絶対知っておかなければならないロープワークとギアについての、基本的な技術を体系的に教えたいとのこと。体系的という言葉から学問的な印象を受け、期待感が更に膨らむ。岩場における諸条件を考慮した場合、技術は迅速、正確、安全に展開されなければならない、そのためのシンプルな展開方法が説明される。結び方等、技術にはいろんな方法があるが、シンプルは早くて安全で、実に安心できる。また、技術は体系的でなければならない、例えばミュンターヒッチ（半マスト）はミュールノット（仮固定）とセットで使用して、初めてミュンターヒッチ本来の効果が期待できる等、真髓を教わる。因みにクライミングはミュンターミュール

ノット（半マスト・仮固定）ができてどうにか一人前とのこと。その他、ボーラインノット（もやい結び）における利便性見直しや止め結びの改良点追加での危険性の解消や、懸垂下降時におけるバックアップ方法、ビレイデバイスの使用方法、ミュンターヒッチやボーラインノットのシンプルな作成方法等ロープワーク、クライミングギアの最新の基本的な操作方法についての指導を受ける。実質半日程度の講習会であったが、講師の熱意で生徒も真剣に取り組み、終わりごろには全員かなり疲労した表情であったが、目には充実感が溢れていた。

ご指導いただいた田中講師には、心より御礼申し上げます。

（文・写真 前川陽）



### <他支部行事参加報告>

#### 松尾峠遭難 90 年碑前祭

- ・日時 平成 25 年 4 月 6 日（土）～7 日（日）
- ・場所 立山町芦峯寺「ふるさと交流館」講演会
- ・参加者 埴崎滋 前川陽

板倉勝宣が松尾峠で遭難してから 90 年を迎え、

記念事業（講演会）が立山町芦峯寺の「ふるさと

交流館」で行われた。板倉の母校の学習院大学山岳部「山桜会」が主催し、芦峯寺総代有志、立山ガイド協会、JAC 富山支部が共催した。会場は遭難当時板倉と行動を共にした三田幸夫、榎有恒および板倉勝宣の関係者(親族等)や JAC 富山支部、石川支部、福井支部、栃木支部並びに慶大および北大関係者や地元関係者など150名であふれた。6日の講演会は「大正期の立山案内人群像～松尾峠の遭難を巡る」五十嶋一晃、「草創期の学習院山岳部」山桜会・錦織秀夫、「立山の積雪と氷河」飯田肇立山カルデラ砂防博物館学芸課長がそれぞれの演題で行った。講演会終了後埴崎さんは帰られる。

その後、会場を「そうしん坊」に移して懇親会

## 小島烏水祭

- ・日時 平成25年4月13日(土)～14日(日)
- ・場所等 4/13 高松市「ホテル花樹海」懇親会  
4/14 峰山公園(顕彰碑除幕式) 高松城「披雲閣」(記念講演会)
  - ・「小島烏水と日本山岳会」(作家で「小島烏水」の著者の近藤信夫氏)
  - ・「阿波忌部氏と大嘗祭」(重要文化財民家、三木家28代当主、三木信夫氏)
- ・参加者 前川陽

日本山岳会創設の発起人で初代会長の「小島烏水」の生誕140年を記念とした「第1回小島烏水祭」が四国支部主催でこの度高松市内で開催された。前日(4/12)に小豆島に入り見学を終え、海岸沿いの道の駅で車中泊をしていたら、翌(4/13)早朝にマグニチュード6.3の淡路島地震に見舞われ度肝を抜かれる。フェリーで高松に入り、会場のホテル「花樹海」で受付を済ませる。初日は、国指定特別名勝「栗林公園」の見学、高松市番町の小島烏水生誕地周辺の散策、本場阿波踊りの見学と踊りの体験コース等を交えた楽しい前夜祭で終える。

翌日(4/14)は、高松市内の「峰山公園」で、日本山岳会から寄託された銅製レリーフを埋め込んだ顕彰碑前で顕彰除幕式が、来賓、会員、関係

が行われたが、各地から持ち寄られた美酒と盛りだくさんの山菜料理をいただきながら、歴史上著名な方々の関係者との対話は、至福のひと時であった。宿泊は国立登山研修所にお世話になったが、渡邊所長のご好意で栃木支部の皆さんとの二次会に招かれ、ここでも美酒と美味しい持ち込み料理と楽しい語らいの再現で、ほんとうに感謝に耐えない一日であった。

翌7日の90年祭は朝から生憎の雨であったが、風土記の丘の碑の前には報道関係者も含めた多くの人が集まり、献花や黙祷がしめやかに行われた。帰りは、渡邊所長の案内で栃木支部の方々と岩峯寺の雄山神社を参拝し、充実の二日間が終了した。

(文 前川陽)

者等110名で行われ、烏水の功績と遺徳を偲ぶ。

その後、高松城内の高松藩主の御殿「披雲閣」へ移動し、昼食と城内散策後、日本山岳会元理事で文芸評論家の「近藤信行氏」による「小島烏水と日本山岳会」の講演と、天皇家の大嘗祭にかかわる阿波忌部氏の直系、重要文化財民家、三木家28代当主、三木信夫氏が「阿波忌部氏と大嘗祭」の演題で講演される。それぞれを極められたおふたりの話は素晴らしく、更に地元で聞いたことに新鮮な興奮を感じる。

翌日(4/15)は、四国支部会員の案内で四国第2の高峰「剣山」の登山が計画されていたが、以前登っていたため、今回は四万十川源流の探訪に切り替え、源流水をたらふく呑んで帰ってきた。

(文 前川陽)

## 富山支部創立65周年・第28回播隆祭

- ・日程 平成25年6月1日(土)～2日(日)
- 6/1 ・「山の日」講演会(富山県民会館401号室)
  - ・播隆上人の遺品他見学会(大山歴史民俗資料館)
  - ・懇親会(白樺ハイツ)
- 6/2 ・播隆祭(播隆上人顕彰碑前)
  - ・記念登山(高頭山)
  - ・参加者 関本邦晴 津田文夫 中川博人 長清幸子 前川陽 前田健進 (会員6名)



### 6/1(土) 第1回『山の日』講演会 『槍ヶ岳開山—播隆上人の人と生涯』

山登りを初めた頃、新田次郎の『槍ヶ岳開山』『劔岳点の記』『強力伝』を読み、どれもこれも強く印象に残っていました。30年もの長きに亘って播隆研究をされているネットワーク播隆代表 黒野こうき氏の講演を聴きたいと思い一連の行事に参加した。会場には旧河内村の生家(中村家)の方々3名もおられました。里の播隆 山の播隆 播隆の生涯 槍ヶ岳開山 伊吹山禅定 笠ヶ岳再興とテーマごとに、泉が湧きでるように1時間半の持ち時間ぎりぎりいっぱい熱っぽく話された。

#### ☆ 播隆遺品 見学会

県民会館から富山市大山歴史民俗資料館に移動。学芸員の解説を受けながら、遺品、中村家文書など展示品を見学する。郷土の三賢人 播隆上人、宇治長次郎、高野山金剛峯寺金山管長の資料展示。鎌倉末期から明治初期の4組八対の有峰狛犬(シン、サル、ヌエ、クマ)が展示され

#### ☆ 交流会

資料館向かいの亀谷温泉 白樺荘にて20名が参加。播隆終焉の地にお住まいの岐阜支部 影山さんが制作されたDVDが披露される。

1840年、槍ヶ岳に鉄鎖でできた善の綱が設

#### ☆ 播隆祭 6/2(日)

宿から約30分かけて、熊野川ダムの上流にある富山市河内地内 中村家跡地に移動。浄土真宗の道場であったという中村家は、間口

その生涯で5回の槍ヶ岳登拝修行を行っていること。1回目の文政9年(1826年)に初登頂、2回目の文政11年山頂に仏像を安置して槍ヶ岳開山を成した。また、開山の10日後には穂高岳に南無阿弥陀仏と記した名号碑を安置したこと。槍ヶ岳登拝修行は、山上に2ヶ月ちかく滞在する山籠修行で厳しい念仏修行であったこと。上人が故郷を離れた経緯について書かれていることは、事実と反していること。このことは声を大にして話されていたように感じます。

ており、深夜、不気味に口笛を吹くように鳴くヌエ(トラツグミ)が四足動物の狛犬となっていることに驚きました。

駐車場では、遠くからアカショウビンの鳴き声が聞こえ、皆で『聞こえるネー』

ここで、前田さんは帰られました。

置され大願成就。その年10月、中山道太田宿で大往生。享年55歳であった。

富山支部の会山行のスライドショーもあり、会山行が活発なように見受けられ羨ましく思った。

一間半ほどの石畳の階段の奥にあり、樹齢200年は越えていそうな大樺が、代々の歴史を物語っているようでした。又、富山支部が植樹さ

れたヤマザクラが2本ありました。アカショウ  
ビンの鳴き声がすぐ近くで聞こえるんだけど、  
姿は見えぬ残念。

子孫の方のお話を伺った後、富山支部金尾事務  
局長の読経のもと参加者全員が焼香しました。

### ☆記念登山 『高頭山 1210m』

支部長さん、津田さん、前川さんはこれにて  
帰られ、関本さんと長清は岐阜支部の2名の方  
と一緒に高頭山に登り始めた。登り始めて20  
分ほど、渡りをする蝶 アサギマダラが何頭も  
飛び交い、関本さんは捕虫網を取り出してマー  
キングを始めた。後の3人は汗をかきかき、お  
下がりのお饅頭を半分こして空腹をみだし、名

残りのユキツバキを愛でながら山頂へ。昼食中  
に関本さんが登ってこられた。

見通しの利かない山ではあったけれど、ブナ、  
クロベ、ヒメコマツの巨木を楽しみ、杉(?)  
の巨大な切り株をみて、積雪期に伐採して斜面  
を転がして川に流して岩瀬浜に運んだのだろう  
か?と想像しながら歩いた。

ジェジェ!!下山をはじめて15分くらいする  
と、前方に富山支部長さんはじめ10名位  
の方々が登ってこられた。もう一度、山頂へとい  
う体力もないので、ここでさようならをして2  
日間のお世話に感謝しつつ帰路につきました。

(文:長清幸子 写真:中川博人)

## 今後の行事予定

参加希望者は、担当者もしくは事務局(前川:080-1952-7298 メール:[maekawayo@gmail.com](mailto:maekawayo@gmail.com)  
)まで申し込みください。

### 1.2013 自然保護全国集会「立山・弥陀ヶ原の自然に学ぶ」

- ・ 日時 平成25年7月6日(土)～7日
- ・ 場所 「立山国際ホテル」 立山
- ・ 日程 7/6 集会(支部報告、基調講演、グループ討議、懇親会)  
7/7 フィールド・スタディ①弥陀ヶ原 ②室堂平 ③立山博物館と立山カルデラ砂防  
博物館
- ・ 費用 14,000円(①②のコースはバス代等別途必要)
- ・ 申込〆切 既に締切り済み(5/25)
- ・ 参加申込者 埴崎滋 安田二三男 長清幸子 藤江以住 津田文夫 中川博人(以上6名)

### 2.夏山合宿「槍ヶ岳 北鎌尾根」

昨年は劔岳で、「劔沢BC～長次郎谷～八峰上半～三ノ窓～小窓～池の平～劔沢BC」と  
充実した合宿が出来ました。今年は名峰槍ヶ岳の北鎌尾根で合宿を実施します。  
ルートファインディングと体力・判断力を要求されるコースです。

- ・ 日程 平成25年7月26日(金)～29日(月)
- ・ 概要

**7/26** AM5:00 金沢発>東海北陸道福光IC～中部縦貫道高山IC>平湯あかんだな駐車場

>上高地>槍沢>馬場平キャンプ場。(ツェルトビバーク)

**7/27** 馬場平 CP>大曲>水股乗越(東鎌尾根)>天井沢下降>北鎌沢出合>北鎌のコル  
(ツェルトビバーク)

**7/28** 北鎌のコル>独標>槍ヶ岳山頂>槍ヶ岳テントサイト(ツェルトビバーク) 天候悪  
化又は体調により槍ヶ岳山荘泊。

**7/29** 西鎌尾根>中崎尾根>奥丸山>わさび平>新穂高温泉>帰宅。

- ・ CL 中川博人 SL 岡本明男 装備・食糧・記録担当は参加者で決定。
- ・ 申込み 担当中川まで。(7/10の時点で参加確定します) メールまたは携帯に。

Mail : [isk@jac.or.jp](mailto:isk@jac.or.jp) 携帯電話 : 090-7741-5262

### 3. 夏の上高地を歩く(岳沢 or ひょうたん池)

- ・ 日程 平成 25 年 8 月 3 日(土) ~ 4 日(日)
- ・ 場所 A ひょうたん池(長七の頭)  
B 岳沢
- ・ 担当 A 田井友康 B 関本邦晴
- ・ 参加申込 関本までメールまたは電話で ([kuniharu@dog.email.ne.jp](mailto:kuniharu@dog.email.ne.jp) 090-4682-3172)
- ・ 申込〆切 6 月 30 日(日)
- ・ 集合場所 金沢市観法寺町 山側環状 観法寺 P A (金沢から森本トンネル抜けてすぐ右側。  
入口は反対車線のため、一旦高架から降りて、折り返し必要。)
- ・ 集合時間 午前 5 時 00 分
- ・ 宿泊場所 上高地山岳研究所
- ・ その他 必要経費、食事等は参加人数が決定次第連絡します。
- ・ 予定時間  
A コース 観法寺 5:00>飛騨清見 6:30>平湯 7:30>上高地 8:30>山研出発 9:00>長七の頭 12:30  
>山研着 16:00  
B コース 山研出発 9:00>岳沢 11:30>山研着>14:00 夕食準備

### 4. 「乗鞍岳」(千町尾根~丸黒尾根を下る)

畳平の標高は白山の標高とほぼ同じです。従って、暑さで体力を消耗することなく山頂に立てます。  
宿泊は千町尾根に立つ小奇麗な奥千町避難小屋で、少し下ると池塘が点在する絶景の湿原です。  
丸黒山を經由し乗鞍青少年交流の家(1,500m)に下山する普段味わえない乗鞍岳満喫コースです。

- ・ 日程 平成 25 年 8 月 24 日(土) ~ 25(日)
- ・ 場所 乗鞍岳東尾根コース
- ・ 担当者 長清幸子 (mail) [demmapepper206@blue.ocn.ne.jp](mailto:demmapepper206@blue.ocn.ne.jp) (Tel) 090-6278-4995
- ・ 申込〆切 8/17(土)までに担当者へ(メールまたは電話で)
- ・ 集合場所 金沢市観法寺町 山側環状 観法寺 P A (金沢方面から森本トンネルを抜け、すぐ右側。  
入口は反対車線のため、一旦高架から降りて、折り返し必要。)
- ・ 集合時間 午前 5 時 00 分

- ・行程 24(土) 金沢～乗鞍青年の家に車デポ～朴の木平駐車場へ移動～バスにて畳平～乗鞍岳剣が峰～奥千町避難小屋泊
- 25日(日) 避難小屋～丸黒山～国立乗鞍青少年交流の家  
朴の木平駐車場へ車回収  
平湯の森にて入浴 ～ 金沢へ
- ・個人装備 縦走避難小屋泊登山装備一式(主要なもののみ記載します。  
帽子 雨具 タオル 着替え シュラフ トイレットペーパー 持病薬 サングラス  
飲料水(尾根上には水はありません。池塘の水を煮沸消毒するか避難小屋から子ノ原方面を15分ほど下るかですが、いずれも夏場で水があるかの保証はありません。)  
食料(全て自己負担でお願いします。夜食以外は全て行動食で結構です。)  
○宿泊用に簡単な床マット(シート)があると便利です。
- ・経費(概算)・・・約5～6,000円(朴木平～畳平 片道バス代、入浴代、車代)
- ・その他 事前に地図でコースを把握しておいて下さい。

## お知らせ

### 1. 会員のメールアドレスの変更

以下2名の会員のメールアドレスが変更になりました。

- ・北栄一郎会員 kitae@yf7.so-net.ne.jp
- ・西田茂会員 s-nishida@outlook.jp

### 2. スポーツ功労賞の受賞

高田和彦会員(石川県山岳協会副会長)が、長年スポーツの振興と発展に多大な功績があったとして平成24年度白山市スポーツ功労賞を受賞されました。

おめでとうございます。

詳細な受賞内容は以下のとおりです。

「長年、山岳協会の役員として、山岳遭難の防止と救助活動、安全で楽しい登山の普及指導、奥獅子吼山等の登山道開設・整備と自然保護、さらに競技登山の技術向上に寄与した。」



### 3. 富山支部からのお誘い

富山支部創立65周年記念山行のお誘いが届きましたので、以下の通りご案内いたします。参加をご希望の方は、7月末までに下記へお申込みください。

## 富山支部創立 65 周年記念山行「北海道 さいはての山と湿原の旅」

○日時 8月28日(水)～9月3日(火) 6泊7日(うちフェリー2泊)

○費用 約10.5万円(参加人数によって多少変更があります。)

○締切 6月25日(火) 事務局・金尾(090-2036-5853)まで連絡下さい。

8月28日(水)	富山6:00→9:00 新潟港 10:30→(新日本海フェリー、船中泊)
29日(木)	4:30 小樽港 5:30→(425km、うち高速道路185km、6.5時間+休憩 昼食2時間、層雲峡、十勝三俣、阿寒湖経由)→14:00 鶴居村温根内 (湿原探索) 15:30→ 環境省ワイルドライフセンター→16:30 宿(釧路市内) <b>* 層雲峡から十勝三俣間、大雪山の山並み、十勝三俣の大樹海</b> <b>* オプションで、夜は釧路の炉辺焼きで入山祝い</b>
30日(金)	釧路8:30→霧多布→風連湖(春国岱)→(昼食)→標津→ 15:00 斜里→16:00 知床五湖 16:30→17:00 宿(木下小屋) <b>* ラムサールサイトを含む道東湿原群をめぐるドライブ</b>
31日(土)	木下小屋7:00 発→11:30 羅臼岳 12:30→15:30 木下小屋 16:30(風呂) →(知床横断道路)→17:00 宿(羅臼・国後島が近い) <b>* 知床の最高峰、羅臼岳は、標高差1400mの往復、アップダウンなし</b>
9月1日(日)	羅臼8:30→10:30 藻琴山登山口→12:00 藻琴山 12:30→ 13:30 登山口→14:45 摩周湖展望台 15:00→阿寒湖畔→ 16:30 宿(雌阿寒(野中)温泉・雌阿寒岳登山口) <b>* 羅臼から雌阿寒温泉に直行して、この日に雌阿寒岳も可</b> <b>* 藻琴山を登らず、摩周湖、川湯、阿寒湖などをゆっくり観光も可</b>
2日(月)	雌阿寒温泉7:00→9:30 雌阿寒岳 10:00→12:00 雌阿寒温泉 13:00 →足寄→十勝清水→千歳→18:00 苫小牧港 9:30 <b>* すべて一般道路の場合: 283km(5時間)</b> <b>* 高速を使った場合 273km(うち高速が192km)</b>
3日(火)	15:30 新潟港 16:00→19:30 富山 お疲れ様でした

## 富山支部創立65周年記念山行「エベレスト展望トレッキング」

### 1. 日程 11月下旬

No.	月日	内容	宿泊	備考
1	11月 日( )	関西空港集合21:00 富山駅16:16発サンダーバード38号	機中泊	
2	11月 日( )	関西空港00:30発TG673 バンコク空港着04:30 バンコク発10:30TG319 カトマンズ着12:30 ホテル着後打合せ、トレッキング準備	ホテル	装備点検と買物 (辻 斉) 010-977-980-8959598
3	11月 日( )	カトマンズニルクラ2840m～バグディン 3h (飛行機が早く飛べばモンジュまで5h) *カトマンズ空港よりランタン、ガネッシュ、ロー ルワリンなどのヒマラヤ山群を機窓に眺めながら ヒマラヤの登山ロルクラに向かいます。	ロッジ 標高:2640m	昼食:ルクラ
4	11月 日( )	バグディン～ナムチェ・バザール 6h ロッジ着後、ナムチェ・バザール見学 夕刻、ナムチェの丘からヒマラヤ(エベレスト他) の夕焼け展望	ロッジ 標高:3500m	昼食:ジョサレ
5	11月 日( )	ナムチェ・バザール～ホテルエベレストビュー ～クムジュン(世界一の展望を歩く)4h 早朝、ナムチェからヒマラヤ朝焼け展望 昼、ホテル・エベレストビューから369度の展望 午後、世界遺産のクムジュンとクンデ村を散策 夕刻、アマダブラムの夕焼け展望	ロッジ 標高:3650m	昼食:クムジュン
6	11月 日( )	クムジュン～キャンジマ～ナムチェ・バザール ～モンジョ 4h ヒマラヤを展望しながらエベレスト街道を下山 します。途中ナムチェ・バザールでショッピングと昼食 をとり、最後にエベレストを眺めて下山します。	ロッジ 標高:2800m	昼食:ナムチェ
7	11月 日( )	モンジュ～ルクラ 5h 往路を辿ってルクラ(空港)に戻ります。	ロッジ 標高:2650m	昼食:タド・コシ
8	11月 日( )	ルクラ～カトマンズ 午後、ショッピングなどフリータイム	ホテル	昼食:カトマンズ
9	11月 日( )	予備日(カトマンズフリー) エベレスト展望「ヒマラヤ遊覧飛行」、カトマンズ 観光など(オプション)ができます。	ホテル	
10	11月 日( )	カトマンズ空港13:50発 バンコク空港発23:15	機中泊	
11	11月 日( )	関西空港着06:00 富山駅着		

天候などにより、日程および内容が多少変更になる場合があります。

### 2. 旅行費用

費用に含まれるもの

- ①国際線航空運賃 ②現地国内線航空運賃、空港送迎費用 ③カトマンズ・ホテル滞在費用(朝食付き)  
④トレッキング(ロッジ利用) ⑤トレッキングおよび国立公園入園許可取得費用  
⑥現地空港送迎費用 ⑦諸連絡費用 ⑧諸手続き費用  
一人 32万円

ただし、以下のものは変動費用につき、上記に含まれません。

- ①ネパール入国ビザ費用 ②関西空港税 ③飛行機燃料追加税費用 ④飛行機保険  
⑤ネパール旅客サービス料 ⑥現地国内空港税 ⑦コック・ポーターのチップ  
合計金額 およそ3万円

### 3. 国内連絡先

938-0025黒部市堀切新445-10 辻 斉 TEL,FAX 0765-52-2153 携帯 090-1317-8489

### 4. 現地連絡先

「山水会館」代表 辻 斉 現地携帯 ネパール977-980-895-9598

### 5. 連絡事項

- ①コース  
②装備  
③参加者の顔写真2枚、パスポートコピー2枚を提出願います。

### 6. 今後の予定

- ・参加申込書の提出  
・打ち合わせ会を行います。  
・費用は出発1ヶ月前まで下記に払い込み下さい。  
北陸銀行黒部支店 普通口座  
番号 4262761 ツジ ヒトシ